

自然環境の保全、環境教育に取り組んでいます。今号では、2017 年度前半(4~9 月)の活動についてご報告します。

葛城地区大規模緑地里山クラブ ※茨城県委託事業

オオムラサキの棲む里山づくり 森づくりボランティア

里山林の再生整備を進める葛城地区大規模緑地(県有地)では、引き続き葛城フォレスタによる維持管理活動を行い、里山クラブの活動として里山散歩(毎月)、森のボランティア(計6回)を実施しました。森の手入れも進み、どんどん気持ちのいい緑地になってきています。

民有地の保健保安林では、オオムラサキをはじめとする多様な生物が暮らせる森をめざして、2003 年より手入れ活動を継続しています。6~8 月、筑波学院大の学生たちも参加して森ボラを 5 回実施。



7月の里山散歩は昆虫がテーマ 森のボランティアでの植樹の手入れ

学生参加者に間伐の講習 樹液にきたオオムラサキ♀

里山ワンダーランド探検隊

しぜんっこくらぶinゆかりの森

「残された里山を子どもたちの体験の場に！」を合言葉に、大規模緑地に隣接する保健保安林で、親子対象の里山ワンダーランド探検隊を実施しています。市街地の隣にある貴重な多様性あふれる森で植物や昆虫の観察を行い、タケノコ掘りや畑づくり、栗拾いなど里山が育む恵みを体験しました。

今年度も、幼児親子対象の自然体験教室を、30組×2クラスでスタートしました。5月新緑の森散策、6月じゃがいも掘り、7月ザリガニつり、9月森で生きもの探しを実施。詳細は、ボランティア「殻斗」のブログ <http://kakuto-tef.blogspot.jp/>参照。15周年記念の活動記録集も完成しました。



ジャガイモを焼く為みんなで火おこし タケノコ掘りも自分で挑戦

新緑の森観察 ジャガイモ掘り ザリガニつり

生きものと共存する米づくり

筑波山麓・水源の森づくり

自然豊かな谷津田の存続をめざす「すそみの田んぼ」では、5/27 田植え、7/1 ホタル観察会、9/30 稲刈りを 25 組の体験つきオーナー家族と行いました。田んぼの一年を親子で学ぶ「田んぼの楽校」は全 10 回のうち 5 回を実施しました。

谷津田周辺の森では、つくば薪クラブと連携し、大きくなりすぎた木を伐採・活用し、森の若返りを図っています。6/5 企業のボランティアと薪クラブ会員など計 66 名が参加して植樹地の下草刈りなど森の手入れを行いました。



田植え (田んぼの楽校)

稲刈り (体験付きオーナー)

参加した積水グループの皆さん

植樹地に侵入した竹も伐採

ter 筑波山ファンクラブ

筑波山の自然を学び見守る活動を継続しています。毎回の観察記録は「筑波山便り」にまとめ、登録メンバー(107名)に配布しています。4/16 裏筑波のカタクリと早春の植物、5/7 難台山スズラン群生地、6/4 加波山・初夏の植物、7/2 広根場林道の植物観察、8/11 筑波山自然研究路の自然観察、9/3 朝日峠～雪入山を実施。植物の開花状況等を記録しながら、自然を楽しみました。



5月ヤマツツジ満開の難台山頂



9月雪入山で植物観察

ter 筑波山自然インストラクター

筑波山自然インストラクターのメンバーが、学校の野外活動や授業に出向いて子どもたちと活動しています。6/6 筑波山の自然学習(つづじヶ丘)つくば特別支援学校中学1年生10名、6/7 春を探そう(宝篋山)小田小1・2年31名、6/29 筑波山の自然学習(御幸ヶ原～自然研究路)3年127名



つくば特別支援学校の活動



小田小学校 春を探そう

ter 筑波山ビジターセンター事業

ビジターセンターのない筑波山において、時期や場所を変えて自然を案内する事業を、つくば市観光推進課と試行的に実施しています。今年度は、春の花の時期である4/15～23に、ケーブルカー山頂駅2階を会場に実施し1,049名の来場者がありました。御幸ヶ原にもブースを設置し、カタクリに関する解説を1,008名に実施。昨年度好評であった筑波山自然見どころマップの春版も制作し配布しました。※つくば市委託事業



御幸ヶ原でのカタクリの解説



カタクリの模型の前で記念撮影

ter 筑波山自然環境教育事業

つくば市環境課と協働で筑波山及びそのつながりのある地域の自然環境を学習する事業を年間4回実施しています。今年度前半、4/23 筑波山の春植物、6/24 つくばの里山(平地林と谷津田)、8/9 霞ヶ浦から桜川水系を巡るをテーマに3回の学習活動を行いました。つくば市環境サポーターの皆さんが参加し、つくば市の自然環境について学びを深めていただきました。※つくば市委託事業



4月筑波山でカタクリの調査



6月田んぼで草取り体験

ter 筑波山麓自然学校(筑波ふれあいの里)

筑波山麓の自然や里山の文化を学ぶ講座を、年間11回開講しています。自然観察、農体験、生き物に触れ合う活動など、親子で楽しく学ぶプログラム5回を実施しました。※つくば市委託事業

6/18 ジャガイモ収穫・自然散策(60名)、7/15 夏の虫・むし探検隊(52名)、7/29 昆虫ナイトウォッチング(38名)、8/20 沢の生きもの観察会(31名)、8/27 発見・体験・沢遊び(51名)



7月夏の森で虫探し



8月沢の生きもの観察会

ter つくば里山たのしみ隊(高崎自然の森)

つくば市農業政策課と協働で高崎自然の森を活用する体験事業を年5回実施しています。前半は、以下、3回の活動を行いました。※つくば市委託事業

5/14 春の森探検+ピースオブフォレスト(76名)
7/27 8/2 森の生きものマップづくり I II (計76名)



5月森のビンゴで森探検



7月秋山先生が虫の解説

事務局より

つくば環境フォーラムの活動フィールドは、つくばの市街地周辺に残された平地林、筑波山麓の谷津田と森、筑波山系と各所にわたっています。自然を豊かにする人のかかわり方を模索しながら、自然環境の保全と自然を活かした環境教育活動に、行政や企業とも連携しながら、継続的に取り組みます。皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。